

第1問

ショートメール・ウェブサイトの読み取り

▶ 出題のねらい

Aではショートメールのやり取りにおける発信者の意図や、やり取りの概要を読み取り、Bではウェブサイトから必要な情報を探し出す。与えられた条件や情報をもとに、解答を正確に判断する力が求められる。

A

▶ 解説

問1 ① ④

「ミラはこの秋、どのクラブ活動に参加するつもりか」

- ① バスケットボール
- ② クリケット
- ③ ホッケー
- ④ テニス

ミラは2つ目のメッセージで「テニスとホッケーのどちらを選ぶかまだ迷っているの」と述べた後、3つ目のメッセージで「中学のときにホッケーをやっていたけど、テニスはやったことがないわ」と述べている。その後、あなたからの3つ目のメッセージで「せっかく学校生活でいろいろなスポーツを楽しめるんだから、新しいスポーツに挑戦してみたらどう？」というアドバイスを受けて、ミラは4つ目のメッセージで「この秋は、あなたのアドバイスに従うわ」と返答している。よって、まだやったことのないテニスに決めたとわかるので、正解は④。なお、ミラの2つ目のメッセージから、バスケットボールとクリケットはともに経験済であることがわかるため、不適切。

問2 ② ②

「ミラの最後のメッセージに対して最も適切な返答は何か」

- ① わかった。靴下をいくつか買うだけにするね。
- ② そうなの？ それはよかった。
- ③ 本当に？ じゃあ、あなたのを借りるね。
- ④ ありがとう。店には1人で行くね。

あなたは4つ目のメッセージで「道具はどうすればいいのかな？」と尋ねている。それに対して、ミラは最後のメッセージで「学校が必要な道具を貸してくれるわよ」と答えており、わざわざ道具を自分で買う必要がないことがわかる。よって、それに対する安堵の気持ちを伝えることができる②が最も自然な返答であり、これが正解。①は、靴下を買おうとしているのはあなたではなくミラのほうなので誤り。③は、道具は

学校が貸してくれるとあるので誤り。④については、スポーツ店に行こうというあなたの誘いに対し、ミラが最後のメッセージで「私もそれを提案しようと思っていた」と同意しており、一緒に行くことがわかるため、「1人で行く」という返答は不自然である。

▶ 語句

(リード文)

senior high school「高等学校」

activity「活動」

(本文)

fall「秋」

think of「～のことを考える」

join「～に参加[加入]する」

choose「～を選ぶ」

spring「春」

actually「実は、本当は」

still「まだ」

sure「確信している」

awesome「素晴らしい、すごい」

choice「選択」

make up one's mind「決心する」

various「さまざまな」

Why don't you ~?「～してはどうですか」

Good point.「良いところを突いているね」

follow「～に従う」

advice「助言」

by the way「ところで」

pants「(複数形で)ズボン」

equipment「備品、装具」

suggest「～を提案する」

lend「～を貸す」

(設問)

appropriate「適切な」

response「返答」

Got it.「わかった」

borrow「～を借りる」

▶ 全文訳

あなたはカナダの高校で勉強しています。クラスメイトのミラが、クラブ活動についてあなたにメッセージを送っています。

ねえ、この秋は何か部活をやるつもりなの？ ここに来る前はバスケットボールをやっていたんでしょ？

やあ、ミラ。うん、3年間くらいやっていたよ。バスケットボール部に入ろうと思っているよ。あなたはどうかなの？

去年の秋にバスケットボールを、今年の春にはクリケットを選んだわ。実は、テニスとホッケーのどちらを選ぶかまだ迷っているの。

季節ごとに部活を変えられるとは知らなかったよ。すごいね！ じゃあ、今年の秋にホッケー、来年の春にバスケットボールをやろうかな。テニスやホッケーをやったことはあるの？

中学のときにホッケーをやっていたけど、テニスはやったことがないわ。ホッケーは秋だけだから、あなたの選択はいいと思うわよ。

なるほど！ じゃあ、決めたよ。せっかく学校生活でいろいろなスポーツを楽しめるんだから、新しいスポーツに挑戦してみたらどう？

いいことを言うわね！ この秋は、あなたのアドバイスに従うわ。それから、来年の春はバスケットボールを選択するね。

おお、一緒にプレイできるね！ ところで、今週末はスポーツ店に行こうよ！ 部活用にズボンを買いたいんだ。道具はどうすればいいのかな？

私もそれを提案しようと思っていたの！ 靴下が必要な。学校が必要な道具を貸してくれるわよ。

B

▶ 解説

問1 ③ ②

「第1ステージに参加するためには、…を提出する必要がある」

- ① スピーチの原稿
- ② 計画中の作品の描画
- ③ 制作過程についてのレポート
- ④ 自画像スケッチ

「コンテスト情報」の第1ステージの提出物の項目に「デザインスケッチ」があり、これはこれから制作する服のデザインを描いたものなので、これを言い換えた②が正解。③の「制作過程についてのレポート」は第2ステージでの提出物なので不適切。また、①、④につ

いては、いずれも本文に言及がないので、こちらでも適切。

問2 ④ ④

「第3ステージの結果を確認できるのは何日からか」

- ① 4月5日
- ② 4月15日
- ③ 4月20日
- ④ 4月25日

「コンテスト情報」の最後にある注意書きの2つ目に「ファイナリスト(第3ステージを勝ち進んだ人)は、スピーチ当日から10日後に発表されます」とある。スピーチは「コンテスト情報」の「第3ステージ」の「締切と日程」の項目から、4月15日に行われるとわかるので、第3ステージの結果はその10日後の4月25日から確認できることになる。よって正解は④。

問3 ⑤ ②

「グランドファイナルで高得点を得るためには、デザインの質と…に最も注意を払う必要がある」

- ① 独創性
- ② 主題との関連
- ③ 縫製技術
- ④ 多様な色

「グランドファイナル評価情報」の表で高い割合を示しているのは「デザインの質(50%)」と「テーマとの関連(30%)」の2つである。このうち、「デザインの質」については既に設問文に含まれているので、2番目に割合の高い「テーマとの関連」と合致する②が正解。本文中の connection が選択肢では relation に、theme が topic にそれぞれ言い換えられている。

▶ 語句 *は参考語句

(リード文)

think of「～のことを考える」

abroad「海外で」

interesting「興味深い」

announcement「告知」

apply「応募する」

(本文)

hold「～を開催する」

theme「テーマ」

ethnic「民族の」

diversity「多様性」

(be) interested in「～に興味[関心]がある」

*preliminary「予備の、予選の」

final「決勝戦」

successful「成功した」
move on to「～に進む」
judging「審査, 判定」
form「形」
runway「ランウェイ, (ファッションショーでモデルが歩く)細長いステージ」
professional「プロの」
clothes「服, 衣類」
grand prize「大賞」
attend「～に出席する, (学校など)に通う」
annual「毎年の, 年に1回の」
scholarship「奨学金」
submission「提出(物)」
detail「詳細」
deadline「締切(日)」
application form「申込用紙」
include「～を含む」
brief「簡単な」
explanation「説明」
sketch「スケッチ, 素描」
draw「～を描く」
print「～を印刷する」
submit「～を提出する」
clothing「服, 衣類」
based on「～に基づいた」
produce「～を制作する」
applicant「応募者, 申込者」
production「制作」
process「過程」
grading「評価」
quality「質」
creativity「創造性」
connection「関連(性)」
choice「選択」
technique「技術」
result「結果」
post「～を掲載[投稿]する」
finalist「決勝戦出場者」
announce「～を公表[発表, 告知]する」
(設問)
participate in「～に参加する」
draft「草稿, 原稿」
drawing「スケッチ, 描画」
plan「～を計画する」
work「作品」
creation「創作」
pay attention to「～に注意を払う」
originality「独創性」

relation「関連」
topic「主題」
sewing「裁縫」
skill「技術」
variety「多様さ」

▶ 全文訳

あなたは海外でファッションデザインの勉強をしようと思っています。インターネットで面白いコンテストの告知を見つけ、応募したいと思っています。

ウォルター・ファッション・デザイン・コンテスト

ウォルター・ファッション・デザイン・コンテストを開催致します。2023年のコンテストのテーマは、「民族の多様性」です。ファッションの勉強に興味がある高校生なら誰でも参加できます。

コンテストは、3つの予選ステージと決勝戦があります。3つのステージすべてで優秀な成績を収めた人は、グランドファイナルに進むことができます。グランドファイナルの審査は、自分の作った服を着用したプロのモデルによるランウェイショー形式で行われます。

グランドファイナル

会場：ウォルター美術大学の
ボラリスホール
日付：2023年5月20日

大賞

上位3名は、年間
10,000ドルの奨学金付き
でウォルター美術大学に通
うことができます。

コンテスト情報：

ステージ	提出物	詳細	締切と日程
第1 ステージ	○申込用紙	スケッチについての簡単な説明を含めてください。	1月15日 までに提出
	○デザインスケッチ	カラーで描くか印刷してください。	
第2 ステージ	○スケッチをもとにした服	服は応募者が制作すること。	3月20日 までに提出
	○制作過程についてのレポート	500語程度の英語で書いてください。	
第3 ステージ	/	スピーチ： 上位20名がグランドファイナルに行くことができます。	4月15日 開催

グランドファイナル評価情報

デザインの質	創造性	テーマとの関連	色の選択	技術
50%	10%	30%	5%	5%

- 第1ステージ、第2ステージの結果は、各提出締切日から5日後にウェブサイトに掲載されます。
- ファイナリストは、スピーチ当日から10日後に発表されます。

詳しい情報および申込用紙については、[こちら](#)をクリックしてください。

第2問 表や文章の読み取り

▶ 出題のねらい

データを参照しながらアンケート結果やコメントを読み、その概要を捉えたり、事実と意見を区別したりする力を問う問題。Aでは映画鑑賞について行われたアンケートなどから必要な情報を読み取り、Bではプレゼンテーション・セミナーの案内文から、意見や事実の根拠を読み取る。

A

▶ 解説

問1 6 ④

「質問1の結果から、半数を超える学生が…ということがわかる」

- ① 1人で映画館での映画鑑賞を楽しむ
- ② 家族と一緒に映画館に行く
- ③ 友達を映画館に連れていく
- ④ 映画館でほかの人と一緒に映画を見る

質問1の表の上2つ「家族と」と「友達と」がつまり「ほかの人と」ということであり、この2つを合わせた回答数は326人(151+175)になる。これは全体の65.2パーセントで半数を超えていることから、④が正解。①は94人、②は151人、③は175人なので、いずれも半数を超えないため不適切。

問2 7 ②

「質問2の結果から、…ということがわかる」

- ① DVDやブルーレイで映画を見る学生は5パーセント未満である
- ② 5分の4を超える学生が映画館に行くことを好まない
- ③ 5人に1人の学生が映画を見るのに月に平均10

ポンドより多く払っている

④ 90パーセントを超える学生が代金を払って映画を見ている

②の「映画館に行くことを好まない」とは、質問2で「映画館」と回答した95人以外全員を指し、その合計は405人(260+100+20+10+15)となる。これは全体の81パーセントであり、5分の4(80パーセント)を超えていることから、正解は②である。DVDやブルーレイで映画を見る学生の数、上から4つ目と5つ目の回答を合わせた数であり、合計30人(20+10)となる。これは全体の6パーセントに当たり、選択肢の「5パーセント未満」と合致しないため①は不適切。映画を見るのに月に10ポンドより多く払っているのは上から5つ目の「購入(DVD、ブルーレイ)」と回答した10人だけである。これは全体の2パーセントなので、選択肢の「5人に1人(20パーセント)」と合致せず、③も不適切。映画を見るのに代金を払っているのは、上から2つ目の「テレビ」と一番下の「見ない」を選んだ115人(100+15)以外全員を指しており、その合計は385人(260+95+20+10)になる。これは全体の77パーセントであり、90パーセントには届かないため、④も不適切。

問3 8 ④

「質問3で学生が述べた1つの意見は…ということだ」

- ① 映画以外のイベントに金を使う学生がいる
- ② 学生は忙しすぎてあまり映画を見る時間がない
- ③ 映画館が学生たちの住むすべての町にあるわけではない
- ④ 映画を映画館で見ることは学生にとって高価すぎる

意見とは客観的な事実ではなく、個人が持つ主観的な考えを述べたもので、人によって一致したり異なったりするものである。質問3の表の上から7つ目に「映画のチケット代は、学生が支払うには高すぎる」とあり、値段が高いか安いかは個人の考えや事情に左右されることから、これは意見であり、同じ内容の④が正解。①は上から8つ目の回答、③は5つ目の回答と内容が合致するが、いずれも意見ではなく事実であることから不適切。②は意見ではあるが、回答に含まれない内容のため不適切である。

問4 9 ③

「質問3で学生が述べた1つの事実…ということだ」

- ① ストリーミングサービスでは人気の映画を見ることが出来る
- ② 映画よりも短い動画のほうが面白い
- ③ 最近チケットの値段を上げた映画館がある
- ④ 家で映画を見るほうが面倒ではない

個人の印象に左右される意見と違い、事実は主観的な要素を含まない。質問3の表の一番下から2番目に「映画館のチケットの値段が最近上がった」という事実を述べた回答があり、これと内容が合致する③が正解。①は回答に含まれない内容であることから不適切。②は3つ目の回答と内容が合致するが、面白いかどうかは個人の印象に左右される意見であることから不適切。④は1つ目の回答とは若干内容が異なり、かつ「面倒ではない」は個人の意見であることから、こちらも不適切。

問5 10 ②

「学生が映画館に行かない理由として最も可能性が高いものは何か」

- ① 彼らが見たい映画が映画館で見られないことが多い。
- ② 彼らは映画館に行くよりも家で映画を見ることのほうが好む。
- ③ 彼らの間では映画を見ることよりもスポーツイベントを見ることのほうが人気である。
- ④ 彼らが見たいものは映画館よりもむしろインターネットで提供されている。

学生が映画館に行かない理由を回答人数が多い順に上から並べた質問3の表を参照する。1つ目の回答「家で映画を見るほうがくつろげる」が、最も多くの回答者数となっているので、この内容に近い②が正解。①は2つ目の回答と同意の内容であるが回答者数が2番目であり、③は8つ目の回答に近い内容であるが回答者数が6名しかおらず、④は4つ目の回答に近い内容であるが回答者数が4番目であるため、それぞれ不適切。

▶ 語句

(リード文)

social studies「社会科」

the UK「イギリス(the United Kingdom)」

conduct「～を行う[実施する]」

survey「調査」

film「映画(米：movie)」

result「結果」

(本文)

cinema「映画館、映画(米：movie theater, movie)」

percent「割合」

favourite「お気に入りの、大好きな(米：favorite)」

pay for「～の代金を払う」

method「方法、手段」

average「平均の」

streaming service「ストリーミングサービス、動画配信サービス」

purchase「購入」

summary「概要、まとめ」

response「回答、返答」

comfortable「くつろいだ、快適な」

screen「～を上映する」

subscribe to「～に加入する[申し込む]」

relaxing「リラックスできる」

recently「最近」

rise「上昇する」

(設問)

less than「～未満」

four-fifths「5分の4」

prefer to do「～するほうを好む」

one in five「5人中1人、5つの内1つ」

on average「平均して」

opinion「意見」

express「～を表明[表現]する」

expensive「高価な」

state「～を述べる」

available「利用可能な」

increase「～を増やす」

lately「最近」

troublesome「面倒な」

likely「ありそうな」

prefer A to B「BよりもAを好む」

offer「～を提供する」

▶ 全文訳

社会科の授業のために、イギリスにあるあなたの学校の学生たち数人が、学生が映画を観賞する方法について調査を行いました。あなたはその結果を読んでみます。

質問1：あなたは誰と映画館に行きますか？

誰と一緒に	学生の数	学生の割合
家族と	151	30.2
友達と	175	35.0
1人で	94	18.8
行かない	80	16.0
合計	500	100.0

質問2：あなたが気に入っている、映画の視聴方法はどんな方法で、映画に毎月いくら支払っていますか？

視聴方法	学生の数	月額平均出費 (ポンド)
ストーリーミングサービス	260	9
テレビ	100	0
映画館	95	7
レンタル (DVD, ブルーレイ)	20	5
購入 (DVD, ブルーレイ)	10	20
見ない	15	0
合計	500	

質問3：あなたが映画館に行かないのであれば、その理由は何ですか？

回答の概要	学生の数
家で映画を見るほうがくつろげる。	217
見たい映画があまり上映されていない。	101
インターネットで短い動画を見るほうがもっと楽しい。	98
自分の家がストーリーミングサービスを契約している。	82
自分の町には映画館がない。	42
DVD またはブルーレイで映画を1人で見るほうがよりリラックスできる。	28
映画のチケット代は、学生が支払うには高すぎる。	11
スポーツイベントに自分の金を使う。	6
映画館のチケットの値段が最近上がった。	5
(そのほかの理由)	38

B

▶ 解説

問1 11 ①

「このセミナーは、…ことをしたいと考えている人を対象にしている」

- ① 自分の考えを効果的に伝えるスキルを身に付ける
- ② 生活の質を向上させる
- ③ 聞き上手になることのメリットを知る
- ④ スピーチインストラクターになるための研修を受ける

『セミナー概要』の説明の第3文に「聴衆に自分の考えをうまく伝え、考えを十分に理解してもらう方法を学ぶことは、あなたにとって有益なことです」とあるので、これに合致する①が正解。②、③、④の内容については、言及がない。

問2 12 ③

「このセミナーでできることは何か」

- ① 実際の会議に出席して、自分のスキルを試す
- ② プレゼンテーションのプロコーチになる
- ③ 仮想の聴衆の前でスピーチをする
- ④ 自分だけのプレゼンテーションビデオを作る

『セミナーでできること』の2つ目の『実践練習する』に、「バーチャル・リアリティ(=仮想現実)・プログラムを使って、学んだことをすべて実践してみましょう」とあり、その中で「さまざまな規模の聴衆を相手に技能をふるいましょう」と述べている。仮想の聴衆の前でスピーチの練習をすることがわかるので、③が正解。

問3 13 ④

「このセミナーに関する1つの事実は…ということだ」

- ① 学生だけを対象としている
- ② 便利で簡単な勉強方法を提供している
- ③ 参加者は、自分のプレゼンテーションを改善できるだろう
- ④ 自分に最も合っている講師から学ぶことができる

『セミナー参加者の評価』において、エリカ・ヴィルトが「コーチが何人かいて、その中から自分に一番合った人を選ぶことができます」と述べており、これは「事実」に相当するので、これに合致する④が正解。①については、『セミナー概要』の最終文に「…就職活動や今後のキャリアに役立ちます」とあるが、学生だけを対象にしているとは書かれていない。また、エリカ・ヴィルトが「時間のない社会人や勉強に忙しい学生に適したセミナーです」と書いていることから、社会人も対象にしている可能性が高いことがわかるので不適切。②については直接の言及がなく、また、この場合の「便利で簡単」というのは意見なので不適切。③は『セミナーの概要』の中で述べられている内容だが、事実でなく意見であるため不適切。

問4 14 ④

「このセミナーに関して述べられた1つの意見は…ということだ」

- ① その目的の1つは参加者に自信を持たせることである
- ② 講師がセミナー参加者にフィードバックを提供する
- ③ レビューアの平均評価は4点を超えている
- ④ スピーキング練習のための最新のプログラムは受講する価値がある

『セミナー参加者の評価』において、ボブ・ヘッセルが「この最先端の練習プログラムは効果があります。提供されている練習をすべてやってみるべきです」と個人的意見を述べているので、この内容に合致する④が正解。①については、『セミナー概要』の第2文に「…そのような気持ち(=緊張や心地悪さ)を克服することができます」とあり、参加者が自信を持てるようになることがこのセミナーの主旨の1つであることがわかる。したがって、意見ではなく事実であるため不適切。②については、『セミナーでできること』の3つ目に記されている事実であるため不適切。③についても、『セミナー参加者の評価』に記された事実であり、意見ではないため不適切。

問5 15 ③

「CPD 認定書を取得するために必要なことの1つは何か」

- ① 利用可能な仮想訓練をすべて行う
- ② ほかの参加者にフィードバックを与える
- ③ 提供されている個人レッスンをすべて受講する
- ④ オンラインビデオを少なくとも10本視聴する

『CPD 認定書を取得するための条件』の2つ目に「コーチによる10時間のオンラインレッスンに参加すること」とある。そこで『セミナー概要』の上部を見ると「10時間の1対1オンラインコーチング」と記載されているので、認定書を取得するためには、提供されている10時間の個人レッスンをすべて受講するのだとわかる。よって、③が正解。one-on-one online coachingは「コーチによる個人レッスン」のことであり、本文のlessons by coachesと選択肢のprivate lessonsと同じ内容を指していることに注意。

▶ 語句 *は参考語句

(リード文)

the UK「イギリス(the United Kingdom)」

seminar「セミナー、講習会」

attend「～に出席する」

(本文)

essential「必須の、極めて重要な、本質的な」

overview「概要、要旨」

available「利用可能な、入手可能な」

online「オンラインで、インターネット上で」

e-Learning「eラーニング、オンライン研修[学習、教育]」

lecture「講義」

VR「バーチャル・リアリティ、仮想現実(virtual reality)」

practice exercise「実践練習」

one-on-one「1対1の、マンツーマンの」

coaching「指導、コーチング」

*CPD「継続的職能開発(Continuing Professional Development)」

certificate「証明書、修了証書」

nervous「緊張して」

uncomfortable「心地悪い、落ち着かない」

audience「観客、聴衆」

overcome「～を克服する」

quality「高品質の」

instructor「講師、インストラクター」

benefit「恩恵、利益」

deliver「～を届ける[述べる、伝える]」

fully「十分に、完全に」

complete「～を修了する[完了する]」

be entitled to「～を取得する資格[権利]がある」

job search「仕事探し、就職活動」

career「職業、経歴、キャリア」

work on「～に取り組む」

Q and A session「質疑応答の時間」

case study「事例研究、ケーススタディ」

at one's own pace「自分のペースで、マイペースで」

practise「～を練習する(米: practice)」

virtual「仮想の、実質上の」

programme「プログラム(米: program)」

experience「～を経験する」

true-to-life「本物にそっくりの、極めて現実的な」

conference「会議、協議」

exercise「～を行使する[発揮する]」

various「さまざまな」

improve「向上する、改善する; ~を向上させる」

feedback「フィードバック、評価、意見」

detailed「詳細な」

performance「業績、能力、実行」

identify「～を確認する」

strength「強み、長所、強さ」

weakness「欠点、弱点、弱さ」

condition「条件、状態」

obtain「～を手に入れる[得る]」

view「～を見る」

three-quarters「4分の3」

one-third「3分の1」

participant「参加者」

evaluation「評価、査定」

reviewer「レビュー[評価]する人、レビュアー」

average「平均; 平均の」

awesome「素晴らしい、見事な」

suit「～に合う[ふさわしい]」

time-poor「時間的余裕のない」

cutting-edge「最先端の、最新鋭の」

provide「～を提供する」

lecturer「講師」

(設問)

be aimed at「～向けである」

gain「～を得る[獲得する]」

effectively「効果的に」

convey「～を伝える」

thought「思い、考え」

quality of life「生活の質(QOL)」

convenient「便利な、都合の良い」

suitable「ふさわしい、適切な」

express「～を表明[表現]する」

object「目的」

confident「自信に満ちた」

latest「最新の」

worth doing「～する価値がある、～するに値する」

offer「～を提供する」

at least「少なくとも」

▶ 全文訳

あなたはイギリスで勉強中で、興味深いセミナーを見つめました。あなたはそのセミナーに参加しようと考えています。

エッセンシャル・プレゼンテーション・セミナー

セミナー概要

- オンラインで受講可能
- 40 回の e ラーニング講義
- 21 回の VR 実践練習
- 10 時間の 1 対 1 オンラインコーチング
- CPD 認定書

聴衆の前でプレゼンテーションをするのに、多くの人が緊張や心地悪さを感じています。プロの講師から質の高いトレーニングを受けることで、そのような気持ちを克服することができます。聴衆に自分の考えをうまく伝え、考えを十分に理解してもらう方法を学ぶことは、あなたにとって有益なことです。このセミナーを修了された方には、CPD (継続的職能開発) 認定書が授与されます。CPD を取得すれば、就職活動や今後のキャリアに役立ちます。

セミナーでできること

- ✓ オンラインでいつでも学習する：e ラーニングビデオ講義、質疑応答、ケーススタディに自分のペースで取り組みましょう。

✓ 実践練習する：バーチャル・リアリティ・プログラムを使って、学んだことをすべて実践してみましょう。

- 小さな会議室、大きな会場など、本物のような環境でプレゼンテーションを経験しましょう。
- ささまざまな規模の聴衆を相手に技術をふるいましょう。

✓ フィードバックで改善する：自分のパフォーマンスについて詳細なフィードバックを受け、長所と短所を把握することができます。

CPD 認定書を取得するための条件：

- オンラインビデオ講義の 4 分の 3 より多くを視聴すること
- コーチによる 10 時間のオンラインレッスンに参加すること
- VR 実践練習の 3 分の 1 より多くを行うこと

セミナー参加者の評価 (89 人のレビューアー)

★★★★★ (平均：4.88)

すごいサービス！ 時間のない社会人や勉強に忙しい学生に適したセミナーです。コーチが何人かいて、その中から自分に一番合った人を選ぶことができます。

6 月 16 日 エリカ・ヴィルト

この最先端の練習プログラムは効果があります。提供されている練習をすべてやってみるべきです。講師のフィードバックやアドバイスが細かく、かなり参考になりました。

9 月 23 日 ボブ・ヘッセル

第 3 問 ブログ・記事の読み取り

▶ 出題のねらい

ブログや記事からの出題。A ではイベントのスケジュール表を参照しながらブログに書かれた内容を読み取り、B ではある女優が行う活動に関する記事を読み、出来事を時系列に整理したり、その概要を把握したりする。

A

▶ 解説

問 1 16 ②

「ルナの投稿から、…ということがわかる」

- ① ルナの仕事はパークの外で行われる
- ② パーク内の中央ステージは海外のバンドのためのものだ

- ③ フェスティバルのチケットは2週間で完売した
④ スタッフはバンドのグッズを割引で購入できる

第2段落第4, 5文に「パーク内には3つのステージがあり、中央のステージが一番大きいです。他国のバンドはそこで演奏することになっています」とあることから、正解は②である。①は、ルナが仕事をするのはパーク内にある受付カウンター(同段落第4～6文より)なので、「(パークの)外で」の部分が誤り。③については、同段落第3文に「全日程のチケットは2週間前に完売しました」とあり、これは「現時点から2週間前に完売した」という意味であり、選択肢の「(発売から)2週間で完売した」とは異なることから不適切。④は、同段落最終文には「食べ物や飲み物を20パーセント引きで買うことができます」とあり、バンドのグッズは含まれないことから、こちらも不適切である。

問2 17 ②

「あなたはフェスティバルの店舗スタッフとして働くことにした。ルナの勧めに基づき、あなたが働くのに最適な日時を次の中から選びなさい」

- ① 8月25日午前11時～午後3時
② 8月26日午前7時～午前11時
③ 8月26日午後3時～午後7時
④ 8月27日午前11時～午後3時
⑤ 8月28日午前7時～午前11時
⑥ 8月28日午後7時～午後9時

「店舗スタッフとして働くこと」と「ルナの勧めに従うこと」を条件に、最適な日時を判断する。まず、スケジュール表の下に「☆：店舗スタッフ募集」とあるため、働くのは☆マークがついている日時になる。よって④と⑤は除外できる。次に、第3段落最終文から、ルナの勧めは「ユニコーンズのコンサートを見ること」だとわかる。同段落第3文に「ユニコーンズのコンサートは、3日目(8月26日)と4日目(8月27日)の午後3時半から5時までです」とあることから、この日付に該当しない①と⑥は除外できる。なお、スケジュール表はスタッフ不足を示すものであり、フェスティバル全体のスケジュールではないため、「3日目と4日目」は、フェスティバル開始日の8月24日から数える必要がある点に注意が必要。さらに、同段落第2文に「スタッフは勤務時間外であれば、勤務している日にどの公演でも見るができます」とあり、③はちょうどユニコーンズのコンサートが行われている時間帯で、コンサートを見るためには店舗勤務はできないことから、正解は②である。

▶ 語句

(リード文)

the UK「イギリス(the United Kingdom)」

call for「～を必要とする」

decide to do「～することに決める」

(本文)

〈第1段落〉

hold「～を催す」

last「続く」

organise「(イベントなどを)企画する(米：organize)」

unfortunately「残念ながら」

be unable to do「～することができない」

scheduled「予定した」

realise「～に気づく(米：realize)」

be short of「～が足りない」

table「表」

below「下記の」

detail「詳細」

〈第2段落〉

a total of「合計～の」

not only A but also B「AだけでなくBも」

well-known「有名な」

skilful「(主に英)熟練した、腕のいい(米：skillful)」

participate「参加する」

sell out「売り切れる」

in advance「前もって」

centre「中央(米：center)」

perform「演奏する」

reception desk「受付カウンター」

discount「割引」

〈第3段落〉

famous「有名な」

as long as「～である限り」

working hours「勤務時間」

suggest that S should V「SがVすることを提案する
(米：suggest that SV)」

make the most of「～を最大限活用する」

opportunity「機会」

(スケジュール表)

timetable「予定表、スケジュール表」

shortage「不足」

clean-up「(主に英)掃除(米：cleanup)」

(設問)

post「投稿」

carry out O「Oを実行する」

central「中央の」

foreign「海外の、外国の」

based on「～に基づいて」

recommendation「勧め、推薦」
choose「～を選ぶ」
following「次の、以下の」

▶ 全文訳

あなたはイギリスの高校で勉強しています。クラスメイトのルナが助けを求めてブログを書き、あなたは彼女を助けることにしました。

ルナ・ワトソン

8月24日(水) 午前10時13分

現在、メイプルパークでは「グリーンミュージックフェスティバル」が開催されています。今日から始まり28日まで続きます。私は主催者側のスタッフとして参加しています。残念ながら、予定されていた日に来られないスタッフが何名かいて、明日からスタッフが足りなくなることになりました(詳しくは下の表を見てください)。皆さんの助けが必要です！

合計20のバンドが出演する小さなフェスティバルです。有名なバンドだけでなく、実力のある高校生によるバンドも参加しています。全日程のチケットは2週間前に完売しました。パーク内には3つのステージがあり、中央のステージが一番大きいです。他国のバンドはそこで演奏することになっています。私は、ほかのステージの間にある受付カウンターで仕事をします。パークの南側にある店では、食べ物や飲み物、バンドのグッズを販売しています。スタッフは全員、そこで食べ物や飲み物を20パーセント引きで買うことができます。

ご存知のように、このフェスティバルではカナダの有名なバンド「ユニコーンズ」が演奏する予定です。スタッフは勤務時間外であれば、勤務している日にどの公演でも見ることができます。ユニコーンズのコンサートは、3日目と4日目の午後3時半から5時までです。働いてこの機会を最大限に活用して、彼らが演奏するのを見ることをお勧めします！

スタッフ不足のスケジュール表
(スケジュール表は省略)

☆：店舗スタッフ募集

★：掃除スタッフ募集

B

▶ 解説

問1

18
20

②
①

19
21

③
④

「次の出来事(①～④)を起こった順に並べなさい」

- ① アデラは3つ目の学校を設立した。
- ② アデラは演技で賞を獲得した。
- ③ 筆者はマラウイでアデラに会った。
- ④ 筆者は自分が撮った写真をアデラに送った。

4つの出来事とそれが起きた時期を整理しながら解く。まず①に関連して、アデラが3つの学校を設立した順番を整理する。

1番目：2014年マラウイ(第2段落第5文「…2014年にはその資金でマラウイに彼女の最初の学校を開校した」より)

2番目：2018年モザンビーク(第2段落最終文「その(最初の学校を開校した2014年)4年後、彼女はモザンビークにもう1つの学校を開校した」より)

3番目：2022年2月15日マラウイ(最後にある現在の日付(2022年11月)と、第4段落最終文「その本は彼女がマラウイに設立した2番目の学校の1周年記念である、来年(2023年)の2月15日に出版される」より、設立は2022年2月15日だとわかる。(この「2番目」はマラウイに2番目に設立した学校のことであり、3つのうちの2番目ではない点に注意))

以上から、①は2022年2月15日の出来事だと特定できる。②は、第3段落第2文「彼女は『ベーシック・エタニティ』に出演し、2013年に同作品で助演女優賞を受賞した」とあることから、2013年の出来事になる。なお、第1段落最終文にも受賞に関する記述があるが、これは慈善活動に対する賞であり、演技ではない点に注意したい。③は、第2段落第5、6文に「…2014年にはその資金でマラウイに彼女の最初の学校を開校した。開校から数週間後に私は現地にいる彼女を訪ね、彼女と学校の写真を撮った」とあることから、2014年(もしくは2015年)の出来事だとわかる。④は、第4段落第2～4文に、「4カ月前、彼女からメールが届き、本の1つの章を執筆してほしいと依頼された。私は最初の原稿を書き、1週間後に彼女に送った。私がアフリカで撮った彼女の写真をメールに添付した」とあることから、2022年7月ごろの出来事ということになる。以上を時系列に並べると、②(2013年)→③(2014年か2015年)→①(2022年2月15日)→④(2022年7月ごろ)の順になる。

問2 22 ①

「アデラが慈善活動を始めようと決めたのは…からである」

- ① アフリカの子供たちに教育を提供する必要性に気づいた
- ② アフリカに学校を設立するための十分な資金を受け取った
- ③ 大学でアフリカの子供たちの状況を学んだ
- ④ アフリカで活動している NGO のスタッフを支援したかった

アデラが慈善活動を始めようと決めたきっかけは第2段落に述べられている。第1, 2文に、アデラはアフリカで活動する NGO スタッフ役を演じ、アフリカの子供たちの状況に衝撃を受けたことが記されている。続く第3, 4文に「彼女は私に、彼ら(アフリカの子供たち)は学ぶ機会を持つべきだと言った。彼らを助けることを決心し、彼女は翌年の2011年に団体を設立した」とあることから、現地の子供たちの教育の必要性を感じたことをきっかけに慈善団体を立ち上げていることがわかるため、正解は①である。②は第5文に書かれている内容ではあるが、慈善活動を始めると決めた時点よりも後の出来事であるため、不適切。また、③は彼女が大学で学んだ内容は本文に言及がなく、慈善活動を始めたこととの直接の関係は読み取れないことから、こちらも不適切。④については本文に言及がない。

問3 23 ①

「この記事から、あなたは…ということがわかった」

- ① アデラはモザンビークで結婚式を挙げた
- ② アデラはアフリカで活動を始めるために演技をやめた
- ③ ルイスは映画の中でアデラの夫役を演じた
- ④ 筆者はアデラに本を書くように勧めた

第3段落最終文に「結婚式は、彼女が設立した2つ目の学校で行われた」とある。問1の学校の設立順についての解説にあるとおり、アデラが2番目に設立したのはモザンビークの学校なので、①が正解。②は第3段落第1文に「アフリカでのこうしたプロジェクトと並行して、アデラは演技にも力を注いだ」とあるため誤り。③は、第3段落第4文に、のちに夫となるルイスと映画で共演したことが述べられているが、役柄についての言及はなく、夫役かどうかは不明なため不適切。④は、アデラの本の執筆については第4段落で述べられているが、筆者が勧めたという記述はないため、こちらも不適切。

▶ 語句

(リード文)

British「イギリスの、イギリス人の」

interesting「興味深い」

article「記事」

favourite「お気に入りの(米: favorite)」

actress「女優」

(本文)

〈第1段落〉

interview「～にインタビューする」

bright「輝かしい」

talented「才能のある」

in addition to「～に加えて」

successful「成功した」

well-known「よく知られた」

charity「慈善」

found「～を設立する」

so far「今のところ」

activity「活動」

recognise「～を認める(米: recognize)」

worldwide「世界中で」

win「～を受賞する[勝ち取る]」

award「賞」

〈第2段落〉

event「イベント、出来事」

film「(主に英)映画(主に米: movie)」

play「～を演じる」

part「(演劇などの)役」

NGO「非政府組織(non-governmental organization)」

graduate from「～を卒業する」

university「大学」

condition「状況」

shocking「衝撃的な」

chance「機会」

determine to do「～することを決心する」

organisation「団体、組織(米: organization)」

following「次の、以下の」

collect「～を集める」

donation「寄付金、寄付」

〈第3段落〉

alongside「～と並行して」

devote oneself to「～に身を捧げる」

act「演じる、演技をする」

perform「演じる、演技をする」

prize「賞」

role「(演劇などの)役」

achieve「～を得る[勝ち取る]」

fame「名声」

performance「演技」
release「～を公開する」
actor「俳優」
lead to「～を引き起こす, ～の原因となる」
get married「結婚する」
wedding「結婚式」
hold「～を催す」
〈第4段落〉
keep a record「記録にとどめる, 記録に残す」
email「電子メール」
chapter「章」
draft「原稿」
attach「～を添付する」
publish「～を出版する」
anniversary「～周年」
establish「～を設立する」
(設問)
order「順番」
set up O [O up]「O を設立する」
decide to do「～することを決める」
realise「～に気づく(米: realize)」
need「必要性」
provide A to B「A を B に提供する」
education「教育」
receive「～を受け取る」
support「～を支援する」
marriage「結婚」
ceremony「式, 祭式」
quit doing「～することをやめる」
husband「夫」
encourage O to do「O に～するよう勧める」

▶ 全文訳

あなたのイギリス人の友人が、お気に入りの女優に関する興味深い記事をあなたに見せます。

アフリカのために生きるイギリス人女優、 アデラ・フローレス

私が初めてアデラ・フローレスにインタビューしたとき、彼女はまだ16歳だったが、すでに輝かしい才能のある女優だった。それ以来、彼女は成功を収めた女優であるだけでなく、有名な慈善活動家にもなった。彼女はこれまで、アフリカに3つの学校を設立した。2020年にゴールデン・チャリティ賞を受賞し、彼女の活動は世界的に認められた。

2度目に彼女と話したのは、彼女がアフリカで活動する NGO スタッフ役を演じた映画である『星の子』のトークイベントの後だった。そこで、大学を卒業したばかりのこの22歳の女優は、アフリカの子供たちの状況は衝撃的だと私に言った。彼女は私に、彼らは学ぶ機会を持つべきだと言った。彼らを助けることを決心し、彼女は翌年の2011年に団体を設立した。3年かけて寄付金を集め、2014年にはその資金でマラウイに彼女の最初の学校を開校した。開校から数週間後に私は現地にいる彼女を訪ね、彼女と学校の写真を撮った。その4年後、彼女はモザンビークにもう1つの学校を開校した。

アフリカでのこうしたプロジェクトと並行して、アデラは演技にも力を注いだ。彼女は『ベーシック・エタニティ』に出演し、2013年に同作品で助演女優賞を受賞した。2015年に公開された『アタック・オン・マーズ』での演技では、さらなる名声を獲得した。その映画ではルイス・テイラーという名前の俳優と共演し、それがきっかけで彼らは2018年に結婚した。結婚式は、彼女が設立した2つ目の学校で行われた。

自分の活動を記録するために、アデラは1年にわたって本を書いている。4カ月前、彼女からメールが届き、本の1つの章を執筆してほしいと依頼された。私は最初原稿を書き、1週間後に彼女に送った。私がアフリカで撮った彼女の写真をメールに添付した。彼女は、それらを本の中で使うと言ってくれた。その本は彼女がマラウイに設立した2番目の学校の1周年記念日である、来年の2月15日に出版される。

スタンリー・ケラー(2022年11月)

第4問 Eメールのやり取り

▶ 出題のねらい

2つのメールと、添付された図表を見て、趣旨を読み取る問題。複数の情報源の中から必要な情報を読み取り、総合的に判断する力が問われる。

▶ 解説

問1 24 ② 25 ④

「ツアーに参加する前にあなたたちがすることを選びなさい」

- ① 参加するツアーを選ぶ
- ② 会社から品物を受け取る

- ③ オンライン工場ツアーを調査する
④ 課題を提出する
⑤ カカオについてのビデオを見る

カナはメールの第2段落で、オンラインの工場ツアーには、工場の様子をリアルタイムで見る90分のツアーと、チョコレートの歴史やカカオ栽培について学ぶ45分の録画ビデオツアーの2種類があると述べ、第3段落の冒頭で、どちらがよいかをオリビア先生に尋ねている。対してオリビア先生は第2段落第1文で、「録画されたビデオを見るだけではつまらないので、事前に日時の調整が必要なツアーを選びましょう」と返答している。これは、カナのメール内のスケジュール表に「(予約は)こちらをクリック」とある90分のツアーを指していることがわかるため、本文の最後にあるスケジュールの下書きには、90分ツアーに関する情報が入る。

カナのメールにあるツアースケジュール表の下にある注の2つ目に「少なくとも1か月前に予約していたければ、カカオ豆(40グラム)と弊社のサンプル商品が、ツアー日の2週間前にご自宅に届きます」とあることから、**24**には②が入る。また、オリビア先生のメールの第3段落第4文に「ツアープログラムの1週間前を締切に、カカオとチョコレートについて調べてレポートを書くという課題を出します」とあることから、**25**には④が入る。

問2 **26** ⑤

「あなたたちは…にツアーに参加する」

- ① 8月31日
② 9月2日
③ 9月11日
④ 10月8日
⑤ 10月11日
⑥ 12月23日

カナはメールの第3段落第3文で、90分のツアーに参加する場合の日程は12月23日(金)以降でどうかと提案している。それに対してオリビア先生は第2段落第2文で、「冬休みと工場の休みが重なるかもしれないので、10月8日(土)の体育祭の振替休日である10月11日(火)がよい選択でしょう」と返答している。よって正解は⑤である。

問3 **27** ④

「あなたたちはどこからツアーに参加するか」

- ① チョコレート工場
② 調理室
③ 図書室

④ 会議室

オンラインツアーに参加する場所についてカナは第4段落第1文で「図書室の隣の会議室」を提案している。それに対してオリビア先生は第3段落第1文で「ツアーのために集まる場所についてのあなたたちの提案に賛成です」と述べている。よって正解は④である。

問4 **28** ①

「あなたたちが参加するツアーは…に開始する」

- ① 午前9時
② 午前11時
③ 午後1時
④ 午後3時

ツアーの時間についてオリビア先生は第4段落第3文で「チョコレートを作るには3、4時間ほどかかるので、午前中に終わるツアーに参加しましょう」と述べている。カナのメールにあるツアースケジュール表を見ると、90分ツアーの3つの時間帯のうち、午前中に終了するのは午前9時から9時のツアーのみとなるので、正解は①である。なお、②については、開始は午前中だが、終了は午後12時30分になるため、「午前中に終わる」という条件に合わないため不適切。

問5 **29** ①

「ツアーに参加した後あなたたちがすることを選びなさい」

- ① チョコレートを作る
② カート先生と話をする
③ 課題を提出する
④ カカオについてのビデオを見る

オリビア先生は第4段落第1文で「オンラインツアーの後は、調理室に移動して自分たちでチョコレートを作りましょう」と述べている。よって正解は①である。

▶ 語句

(リード文)

activity「活動」

semester「学期」

exchange「やり取り、交換」

so that S can do「～するために、～できるように」

draft「～の下書きを書く；下書き」

(英文1)

〈第1段落〉

familiar「よく知っている」

product「商品，製品」
actually「実際に，実は」
manufacture「～を作る〔製造する〕」
research「調査，研究；～を調査する」
notice「～に気づく」
offer「～を提供する」
attach「～を添付する」
〈スケジュール表〉
reservation「予約」
note「注記，注意」
install「～をインストールする」
app「アプリ，アプリケーション(application)」
in advance「事前に，前もって」
on demand「オンデマンドで，要求に応じて」
required「必須の」
watchable「視聴できる」
except for「～を除いて」
national holiday「国民の祝日」
at least「少なくとも」
cacao bean「カカオ豆」
deliver「～を届ける〔配達する〕」
〈第2段落〉
available「利用可能な」
allow O to do「O が～できるようにする」
participant「参加者」
operate「稼働する，操業する」
in real time「リアルタイムで」
in addition「加えて，その上」
via「～によって，～を用いて」
chat「チャット，おしゃべり」
farming「農業」
A as well as B「BだけでなくAも」
operation「稼働」
pre-recorded「録画された」
〈第3段落〉
usually「通常，普段は」
choose「～を選ぶ」
〈第4段落〉
gather「集まる」
Yours,「敬具。(結語)」

(英文2)
〈第1段落〉
go over「～を詳しく調べる」
option「選択肢」
in detail「詳細に」
glad「うれしく思う」
you guys「みなさん(口語)」

subject「テーマ，主題」
favorite「お気に入りの，大好きな」
cultivation「栽培」
involve「～を伴う〔引き起こす〕」
issue「問題」
deforestation「森林伐採」
child labor「児童労働」
sure「確信している」
worthwhile「価値のある」
experience「～を経験する」
〈第2段落〉
boring「つまらない，退屈な」
require「～を必要とする」
arrange「～を調整する」
ahead of time「前もって，早めに」
overlap「重なる」
choice「選択」
substitute holiday「振替休日」
sports festival「体育祭，運動会」
pick「～を選ぶ」
plenty of「たくさん」
filled「埋まった，いっぱい」
the day after tomorrow「明後日」
estimate「～を見積もる」
book「～を予約する」
〈第3段落〉
agree with「～に同意する」
suggestion「提案」
inform「～に知らせる」
supervisor「管理者」
in favor of「～に賛成して」
assignment「課題，宿題」
deadline「締切」
〈第4段落〉
reserve「～を予約する」
based on「～に基づいて」
Best,「よろしくお願いします。(結語)」
(スケジュールの下書き)
attend「～に参加する」
(設問)
participate in「～に参加する」
receive「～を受け取る」
submit「～を提出する」

▶ 全文訳

英語教師のオリビア先生が、あなたとクラスメイトのカナに、国際クラブの2学期の活動を計画するのを手伝ってほしいと言いました。あなたはスケジュールの下書きを書くために、カナとオリビア先生のメールのやりとりを読んでいます。

(英文1)

こんにちは、オリビア先生。

よく知っている商品が実際にどのように作られているかを私たちが学ぶのはいい考えだと先生はおっしゃいました。インターネットで調べてみると、オンラインで工場の見学ツアーを提供する会社がますます増えていることに気づきました。その中で、スウィーティー・カンパニーのオンラインチョコレート工場見学ツアーが非常に面白そうなので、そのツアーに部員が参加するのはどうでしょうか？ そのスケジュール表を添付します。

スウィーティー・カンパニーの
チョコレート工場ツアースケジュール

ツアー		予約	注記
90分 ライブ ツアー	午前9時～午前 10時30分*	こちらを クリック**	事前にオンライン ミーティング アプリをパソ コンかタブレ ットにインス トールして ください。
	午前11時～午後 12時30分*		
	午後1時～午後 2時30分*		
45分 ビデオ ツアー	オンデマンド	不要	大半のパソコン、 タブレット、ス マートフォンで 視聴可能です。

*国民の祝日、クリスマス・年始の休日を除く月曜日から木曜日。

**少なくとも1カ月前に予約していただければ、カカオ豆(40グラム)と弊社のサンプル商品が、ツアー日の2週間前にご自宅に届きます。

ツアーは2種類用意されています。1つは、工場が稼働している様子を参加者がリアルタイムで見ることができる90分のライブツアーです。加えて、チャットを通じて質問をすることができます。もう1つは、工場の稼働状況だけでなく、チョコレートの歴史や、カカオ栽培について参加者が学ぶことができる45分のビデオツアーです。ただし、このツアーは事前に録画されたビデオをオンラインで見ただけです。

先生はどちらのほうが私たちにあってよいと思いますか？ 私たちの部は通常水曜日と金曜日の午後3時から午後6時まで集まるので、45分のほうを選ぶしか

なさそうです。あるいは、冬休みが始まる12月23日(金)以降であれば、90分のほうを選ぶことができます。

集まる場所として、図書室の隣の会議室がよいだろうと私たちは考えています。また、私たちはカカオやチョコレートについては知らないことが多いので、レポートを作成したほうがいいのではないかと思っています。どう思われますか？

よろしくお願いします。

カナ

以下のメールはカナへの、オリビア先生の返信です。

(英文2)

こんにちは、カナ。

今、あなたのメールを読みました。2人とも、選択肢を詳しく調べてくれてありがとう。あなたたちが素晴らしいテーマを見つけてくれてうれしいです。チョコレートは誰もが大好きな食べ物ですが、カカオ栽培には森林伐採や児童労働などの問題が伴います。部員がこのツアーを経験することはきっと価値あるものになるでしょう。

録画されたビデオを見るだけではつまらないので、事前に日時の調整が必要なツアーを選びましょう。冬休みと工場の休みが重なるかもしれないので、10月8日(土)の体育祭の振替休日である10月11日(火)がよい選択でしょう。この日を選ぶのであれば、チョコレートもらうために9月11日までに予約する必要がありますね。今日は8月31日(水)なので、たっぷり時間は残っています。でも予約が埋まるおそれがあるので、このオンラインイベントについて今日私が部員全員にメールをします。それから、明後日の部のミーティング時に、参加人数を見積もって、ツアーを予約しましょう。

ツアーのために集まる場所についてのあなたたちの提案に賛成です。部屋の管理者のカーツ先生にそのことを伝えておいてください。レポート作成に関してもあなたたちの考えに賛成です。ツアープログラムの1週間前を締切に、カカオとチョコレートについて調べてレポートを書くという課題を出します。

オンラインツアーの後は、調理室に移動して自分たちでチョコレートを作ります。部屋は私が予約して

おきます。チョコレートを作るには3, 4時間ほどかかるので、午前中に終わるツアーに参加しましょう。以上の情報をもとにスケジュールの下書きを作成してください。

よろしくお願いします。
オリビア

〔部のスケジュールの下書き〕

いつ	すること
1 カ月以上前	ツアーを予約する
2 週間前	24
1 週間前	25
26	・ 27 でオンラインツアーに参加する (28 開始) ・ 29

第5問 レポート文の読み取り

▶ 出題のねらい

発表のための準備をする場面で、記事を読み取り、説明文の概要、要旨、文章の構成を把握する力を問う。

▶ 解説

問1 30 ②

「プレゼンテーションに最適なサブタイトルはどれか」

- ① 南北戦争が彼女の執筆に与えた影響
- ② 児童小説家以上の存在
- ③ 『若草物語』に隠されたメッセージ
- ④ 彼女がペンネームで小説を書いた理由

プレゼンテーションのタイトルは「ルイーザ・メイ・オルコット(1832-1888)」で、『若草物語』の著者の一生を紹介するものである。第1段落最終文に『若草物語』の人气で児童小説家として認められるようになったが、彼女はほかにも大人向けの小説を数多く執筆し、彼女が生きた時代だけでなく現代でも好評を博している」とあるとおり、短編小説集『病院のスケッチ』が大人にも子供にも読まれたこと(第3段落第3～5文)、『愛の果ての物語』が大人の情熱的な愛を描いた小説であること(最終段落第5文)、さらには女性参政権運動に参加して投票権を勝ち取ったこと(第5段落)など、児童小説家以外の活動も紹介されている。

よって、②が正解。①については、南北戦争での経験をもとに小説を書いたことが第3段落で述べられているが、1つのエピソードに過ぎず、サブタイトルとしては不適切。③については特に記載がなく、④については、第3段落最終文にルイーザがペンネームを使っていたことが述べられているが、理由についての言及はないため不適切。

問2 31・32 ②・⑤(順不同)

『初期のころ』を完成させるのに、31と32に最適な2つの選択肢を選びなさい(順序は問わない)」

- ① 3人の妹を世話して母親を助けた
- ② 執筆以外の仕事もいくつか経験した
- ③ 父親のおかげで生活費は十分にあった
- ④ 17歳のときに最初の書籍を出版した
- ⑤ 知識人の中で幼少期を過ごした

初期のころの出来事は第2段落に書かれている。①については、第2文に「(ルイーザは)4人姉妹の次女であった」とあり、妹は2人なので誤り。②については、第7～9文に、家族を助けるために教師や家政婦などの仕事に就き、雑誌に寄稿してお金を稼いでいたと書かれているので、正解。③については、第6, 7文に父親の仕事が安定せず、オルコット家の経済は苦しかったため、ルイーザが働いたことが述べられているので、誤り。④については、第9, 10文より、17歳のときは雑誌への寄稿で原稿料を稼いでいたがまだ著作の出版には至らず、最初の書籍が出版されたのはその後の1854年(ルイーザは22歳)であることがわかるので、誤り。⑤については、第4, 5文に「ルイーザは、共に両親の友人である、著名な哲学者のヘンリー・デイヴィッド・ソローや作家のナサニエル・ホーソンなど、多くのアメリカの最も偉大な作家たちに囲まれて育った。このような知識人の存在は、彼女の作家としての成長に影響を与えた」とあるため、正解。

問3 33 ① 34 ④
35 ⑤ 36 ②

「5つの出来事(①～⑤)から4つを選び、起こった順に並べて『一連の重要な出来事』を完成させなさい」

- ① ルイーザの病院での体験をもとにした書籍が出版された。
- ② ルイーザはコンコード教育委員会の選挙で投票した。
- ③ ルイーザは病気になるまでの3カ月間看護師として働いた。
- ④ ルイーザは悪魔と契約するヒロインが登場する物語を書いた。

⑤ トーマス・ナイルズはルーザに少女向けの物語を書くように依頼した。

「一連の重要な出来事」の最初に「南北戦争が勃発した」とあり、最後に「ルーザは1888年に亡くなった」とあるので、その間の出来事を順に読み取る。南北戦争の勃発(1861年)については第3段落第1文で言及されている。①は、第3段落第3文に「1863年、病院での体験をもとにした短編小説集『病院のスケッチ』が出版された」とあり、1863年の出来事とわかる。②は、第5段落第3文「コンコード教育委員会の選挙が行われたとき、ルーザは登録した20人の女性の中で最初の投票者となった」に該当し、直前の第2文より1879年以降のことと特定できる。③は、第3段落第2文「彼女は3カ月間勤務するつもりだったが、重病にかかったため、途中で帰郷させられた」に矛盾し、内容的に誤り。④は、最終段落第5文「1866年に書かれた『愛の果ての物語』は、ヒロインが悪魔と契約する情熱的な愛についての大人の小説である」に該当し、1866年の出来事とわかる。⑤は、第4段落第1文「ルーザが35歳のとき、出版者のトーマス・ナイルズから『少女向けの物語』の執筆を依頼された」に該当する。何年かは示されていないが、35歳であるから1867年かあるいは1868年と考えられる。以上を年代順に並べると、①(1863年)→④(1866年)→⑤(1867年か1868年)→②(1879年以降)となる。

問4 37 ④

「『彼女の代表作』を完成させるのに、37に最適な選択肢を選びなさい」

- ① それにより彼女は幅広いジャンルの作家として有名になった
- ② それは彼女が常々書きたいと思っていたものだった
- ③ それは話が幼稚だったために当初はあまりヒットしなかった
- ④ その主人公は作者本人をモデルにしている

空所を含む文は「『若草物語』は4姉妹の成長を描いた小説であり、37」という意味。『若草物語』に関して詳しく書いた第4段落の第4文に「この小説のヒロイン、ジョー・マーチはルーザ自身をモデルにしている」とある。よって、④が正解。①については、第1段落最終文の「『若草物語』の人気で児童小説家として認められるようになった」に矛盾する。②は、第4段落第2文「彼女は当初、このアイデア(=少女向けの物語の執筆)にあまり乗り気ではなかった」に矛盾する。③は、第4段落第5文「本(=『若草物語』)は1868年に出版されると、たちまち評判となった」に矛盾する。

問5 38 ③

「『遺産と評価』を完成させるのに、38に最適な選択肢を選びなさい」

- ① 映画版の『若草物語』はすべて、賞を獲得した。
- ② 彼女は州選挙に立候補した最初の女性の1人として知られている。
- ③ 彼女は女性の投票権を求める戦いに貢献した。
- ④ 『若草物語』の続編は50カ国語に翻訳されている。

第5段落第1、2文に「晩年、彼女は母の足跡をたどり、マサチューセッツ州の女性参政権運動に参加した。彼女の尽力もあり、1879年から、州は町の選挙で子供や教育に関わる問題に限って女性の投票を認めた」とある。よって、③が正解。①の映画版『若草物語』については、最終段落第2文で言及されているが、「6作品すべてが賞を獲得した」とは書かれていない。また、「州選挙に立候補した」という記載もないため、②も不適切。④の続編については、第4段落第6～最終文で触れているが、翻訳については言及がない。第1段落第2文に「50カ国語以上に翻訳されている」とあるのは、『若草物語』のことである。

▶ 語句 *は参考語句

(リード文)

presentation「口頭発表、プレゼンテーション」

following「次の、下記の」

article「記事」

prepare「～を用意する」

note「メモ」

(本文)

〈第1段落〉

author「著者、作家」

timeless「不朽の」

novel「(長編)小説」

journey「旅、遍歴」

womanhood「成人、女性であること」

heartwarming「心温まる」

translate A into B「AをBに翻訳する」

popularity「人気」

(be) recognized as「(社会に)～と認められる」

novelist「小説家」

well-received「評判の良い」

〈第2段落〉

education「教育」

reformer「改革者」

activist「活動家」

grow up「成長する」

(be) surrounded by「～に囲まれる」

including「～を含めて」
famed「高名な，著名な」
philosopher「哲学者」
presence「存在」
intellectual「知識人」
influence「～に影響を与える」
development「成長，発達」
passionate「情熱的な」
educator「教育者」
educational「教育的な」
method「方法，手段」
innovative「革新的な」
kick O out of「Oを～から追い出す」
financial「財政的な」
difficulty「困難」
household「家庭(用)の」
servant「使用人」
laundry「洗濯」
fable「寓話」
collection「収集物」
fairy tale「おとぎ話」
publish「～を出版する」
〈第3段落〉
the Civil War「南北戦争」
break out「勃発する」
volunteer「志願する」
nurse「看護師」
*Union Army「北軍，連邦軍」
intend to do「～するつもりである」
serve「勤務する，勤める」
halfway through「途中で」
be seriously ill「重病を患う」
based on「～に基づいて」
experience「体験，経験；～を経験する」
fame「名声」
audience「読者，聴衆」
include「～を含む」
release「～を発表する」
〈第4段落〉
publisher「出版者[社]」
request O to do「Oに～することを依頼する」
initially「初めは，当初は」
be keen on「～に非常に乗り気である」
eventually「やがて，最終的に」
persuade「～を説得する」
accept「～を受け入れる」
offer「依頼，申し出」
base「～を基礎とする」

heroine「ヒロイン，女主人公」
immediate「即時の」
success「成功」
in response to「～に応じて」
follow-up「続編」
follow「～を追う」
huge hit「大ヒット」
gain「～を得る[稼ぐ]」
fortune「富，財産」
〈第5段落〉
in one's later years「晩年に」
follow in one's footsteps「～の足跡をたどる」
join「～に参加する」
*women's suffrage movement「女性参政権運動」
thanks to「～のおかげで」
in part「一部分において」
effort「尽力，努力」
state「州」
allow O to do「Oが～することを許す」
vote「投票する」
election「選挙」
issue「問題」
involve「～に重要なものとして関わる」
committee「委員会」
register「登録する」
continue to do「～し続ける」
encourage O to do「Oが～することを促す」
〈第6段落〉
film adaptation「(小説などの)映画版」
receive「～を受け取る」
Academy Award「アカデミー賞」
nomination「ノミネート，推薦」
poem「詩」
sensational「刺激的な」
tale「話，物語」
thriller「スリラー小説」
(be) filled with「～でいっぱいである」
passion「情熱」
revenge「復讐」
violence「暴力」
fatal「宿命的な」
chase「追跡」
sign a deal with「～と契約を結ぶ」
devil「悪魔」
reject「～を拒否する」
finally「ようやく，やっと」
(プレゼンテーション用メモ)
sequence「ひと続きのもの」

pass away「亡くなる」
major work「代表作，主要な作品」
tell of「～について述べる」
character「登場人物」
legacy「遺産，レガシー」
recognition「高い評価，認識」
produce「～を生み出す」
(設問)
subtitle「サブタイトル，副題」
children's author「児童文学作家」
hidden「隠された，秘密の」
choose「～を選ぶ」
option「選択肢」
complete「～を完成させる」
order「順序，順番」
care for「～を世話する」
besides「～のほかに」
have enough to live on「生活(費)に困らない」
wide range of「幅広い～」
genre「ジャンル，分野」
childish「幼稚な，子供っぽい」
leading character「主人公」
award「～を授与する」
prize「賞」
run for「～に立候補する」
contribution「貢献」

▶ 全文訳

英語の授業で，あなたは偉大な作家についての発表を行います。あなたは次の記事を見つけ，発表のためのメモを用意しました。

ルイーザ・メイ・オルコットは，4人の姉妹の人生と，子供から大人の女性への道のりを描いた不朽の名作『若草物語』の著者として最もよく知られている。この心温まる物語は，執筆から150年以上たった今でも世界中で愛され，50カ国語以上に翻訳されている。『若草物語』の人気で児童小説家として認められるようになったが，彼女はほかにも大人向けの小説を数多く執筆し，彼女が生きた時代だけでなく現代でも好評を博している。

ルイーザは1832年，ペンシルベニア州ジャーマンタウンに生まれた。4人姉妹の次女であった。父エイモス・ブロンソン・オルコットは教育改革者，母は女性の権利のための活動家であった。ルイーザは，共に両親の友人である，著名な哲学者のヘンリー・デイヴィッド・ソローや作家のナサニエル・ホーソンな

ど，多くのアメリカの最も偉大な作家たちに囲まれて育った。このような知識人の存在は，彼女の作家としての成長に影響を与えた。ブロンソンは熱意のある教育者だったが，その教育方法があまりに革新的だったため，学校から追い出されることもしばしばあった。オルコット家は経済的に苦しいことが多かったので，ルイーザは若い頃，家族を助けるために多くの仕事に就いた。教師や家政婦として働き，衣類の洗濯もした。17歳のとき，ルイーザはすでに雑誌に寄稿してお金を稼いでいた。1854年，彼女の最初の書籍である童話集『フラワー・フェイブルズ』が出版された。

1861年，南北戦争が勃発すると，彼女は北軍の病院での看護師に志願した。彼女は3カ月間勤務するつもりだったが，重病にかかったため，途中で帰郷させられた。1863年，病院での体験をもとにした短編小説集『病院のスケッチ』が出版された。この本はルイーザに最初の名声をもたらした。彼女の読者には，大人も子供もいた。彼女はまた，初期の作品の多くを，A・M・バーナードというペンネームで発表した。

ルイーザが35歳のとき，出版者のトーマス・ナイルズから「少女向けの物語」の執筆を依頼された。彼女は当初，このアイデアにあまり乗り気ではなかったが，最終的には説得されてこの依頼を受けた。幼少期の体験をもとに『若草物語』を執筆し，19世紀で最も偉大なアメリカ人小説家の1人として知られるようになった。この小説のヒロイン，ジョー・マーチはルイーザ自身をモデルにしている。本は1868年に出版されると，たちまち評判となった。もっと読みたいという若い読者の要望に応えて，『リトル・メン』(1871年)，『ジョーの少年たち』(1886年)など8冊の続編が出版された。これらの本は，マーチ姉妹とその家族が成長していく過程を描いている。どの本も大ヒットとなり，彼女はさらなる名声と富を手に入れた。

晩年，彼女は母の足跡をたどり，マサチューセッツ州の女性参政権運動に参加した。彼女の尽力もあり，1879年から，州は町の選挙で子供や教育に関わる問題に限って女性の投票を認めた。コンコード教育委員会の選挙が行われたとき，ルイーザは登録した20人の女性の中で最初の投票者となった。彼女は1888年に亡くなるまで投票を続け，ほかの女性にも投票を促した。

今日，ルイーザの作品は世界中で広く読まれている。『若草物語』の6度目の映画化作品(2019年公開)は，アカデミー賞6部門にノミネートされた。ルイーザは生涯に270の詩，短編小説，小説を書いた。その中には，情熱，復讐，暴力に満ちた刺激的な物語やスリラー小説もある。1866年に書かれた『愛の果ての物

話』は、ヒロインが悪魔と契約する情熱的な愛についての大人の小説である。その小説は当時出版社に断られたが、1995 年によやく出版され、ベストセラーとなった。

プレゼンテーション用メモ：

ルイーザ・メイ・オルコット(1832-1888)

- 30 -

初期のころ

- ペンシルベニア州ジャーマンタウンに生まれた

- 31

- 32

一連の重要な出来事

南北戦争が勃発した。

33

34

35

36

↓ ルイーザは 1888 年に亡くなった。

彼女の代表作

- 『若草物語』は 4 姉妹の成長を描いた小説であり、37。

- 『リトル・メン』と『ジョーの少年たち』は、『若草物語』の登場人物のその後の人生を描いている。

遺産と評価

- 彼女は 19 世紀で最も偉大なアメリカ人小説家の 1 人として認められている。

- 彼女は生涯で 270 もの作品を生み出した。

- 38

第 6 問 論理的な文章の読み取り

▶ 出題のねらい

A、B ともに論理的な文章を読み、必要な情報を整理しながら、文章の概要・要点や論理的展開を把握する力、要約する力を問う。

A

▶ 解説

問 1 39 ②

「39」に最適な選択肢を選びなさい

- ① 感情を共有することで他者と親密な絆を築く
- ② 母親と感情的な強いつながりを作る

③ 周りのすべての大人から多くの注目を集める

④ 父親よりも母親からより多くの愛情を受ける

ボウルビイの理論については第 1 段落を参照する。メモの空所を含む文は「子供は…という欲求を持って生まれてくる」という意味なので、第 1 文の inborn need (生まれつきの欲求)に着目すると、「心理学者ジョン・ボウルビイは、子供には生まれながらにして母親と密接な感情的結びつきを形成したいという欲求があると説明する、愛着理論の研究で知られている」と述べられている。よって、②が正解。本文の a close emotional bond が 選択肢 では a strong emotional connection に言い換えられている。

問 2 40 ②

「40」に最適な選択肢を選びなさい

- ① 慰めを求めて戻ってきた母親に駆け寄った
- ② 母親がいなくなっても戻ってきてもあまり反応しなかった
- ③ 母親の行動に対して不規則な態度をとった
- ④ 見知らぬ人に対して強い恐怖や拒絶を示した

エインズワースの理論で、乳児の愛着の 3 タイプのうち、avoidant attachment types (回避型愛着タイプ)について問われている。3 タイプの説明は第 3 段落にあり、回避型については第 3、4 文で「回避型愛着の乳児は、母親を避けたり無視したりし、母親がいなくなっても戻ってもほとんど感情を示さなかった。周囲に誰がいても気にしないようであり、見知らぬ人に対しても母親とあまり変わらない態度で接した」と説明されている。よって、②が正解。本文の show(ing) little emotion が 選択肢 では not react much に言い換えられている。なお、③は無秩序型愛着タイプ、④は不安型愛着タイプの反応であることから、いずれも不適切。

問 3 41 ①

「41」に最適な選択肢を選びなさい

- ① 母親の感受性の結果である
- ② 乳児の生まれつきの特性によって決まる
- ③ 気難しい性格につながるかもしれない
- ④ 子供が何に対して敏感なのかを母親に示す

乳児の愛着タイプの違いについて、エインズワースがどのように説明しているかを読み取る。第 4 段落第 1 文に「エインズワースは、異なる愛着タイプを説明するために、『養育者感受性説(caregiver sensitivity hypothesis)』を提起した」とあり、第 2 文で「乳児の愛着タイプは、母親の赤ちゃんに対する行動によって決

まる」という彼女の主張が紹介され、第3文以降は、感受性が豊かな(sensitive)母親と感受性の乏しい(less sensitive)母親を対比して、子供への反応の違いが愛着タイプの違いを生じさせる可能性について述べている。よって、①が正解。なお②は、エインズワースの説に対する批判として、ジェローム・ケイガンが主張した内容(第5段落第3, 4文)であり、エインズワースが唱える説とは異なる。

問4 42 ③ 43 ①

「42」と43に最適な選択肢を選びなさい

- ① 被験者の文化的な違い
- ② 見知らぬ人に対する乳児の反応
- ③ 乳児と母親の関係
- ④ 後から特定された第4のタイプ
- ⑤ 必要とされる試験官の数
- ⑥ アメリカにおける家族の価値観の妥当性

「エインズワースの理論への批判」は第5, 6段落にあり、ストレンジ・シチュエーション法については第6段落に記述がある。第1文で「人工的である」という批判に関して述べた後、第3文で「母親に対する愛着のタイプのみが特定され、父親やほかの家族に対する愛着は特定されないという批判もある」と述べていることから、42には③が適切。続いて第4文では「被験者が100人の中流階級のアメリカ人に限定されていることから、調査結果が文化的に偏っており、アメリカ文化の規範や価値観しか反映していない」という批判が紹介されている。これは被験者に文化的な違いが乏しいということなので、43には①が適切である。なお、⑥については、本文中で「妥当性に欠ける」とされているのはストレンジ・シチュエーション法から得られた結果であり、アメリカの家族の価値観の妥当性は問われていないため不適切。

▶ 語句

(リード文)

psychological「心理学の、心理的な」

theory「理論、学説」

attachment「愛着、愛情」

article「記事」

share「～を共有する」

complete「～を完成させる」

summary「要約」

note「メモ」

(タイトル)

attachment theory「愛着理論」

(本文)

〈第1段落〉

psychologist「心理学者」

explain「～を説明する」

inborn「生まれつきの、先天的な」

form「～を形成する」

close「密接な、親密な」

emotional「感情的な、情緒の」

bond「密接な関係、結束、きずな」

insist「～と主張する」

intimate「親密な」

develop「発達する」

infancy「(乳)幼児期」

according to「～によれば」

consistent「一貫した、持続的な」

response「反応、応答」

protection「保護」

shelter「住居、住まい」

attention「関心、注意」

primary「主要な」

caregiver「世話をする人」

point out「～を指摘する」

affect「～に影響する」

development「発達」

relationship「(人間)関係」

adulthood「成人期」

〈第2段落〉

expand「～を発展させる」

research「研究」

infant「幼児、乳児、赤ん坊」

experiment「実験」

strange「見知らぬ、なじみのない」

situation「状況」

observe「～を観察する」

behavior「行動、態度」

aged「(数詞の前で)～歳の」

as follows「次のとおりで[に]」

stranger「見知らぬ人」

approach「～に近づく」

quietly「静かに」

interact with「～と交流する」

comfort「～をなだめる[慰める]；慰め、やすらぎ」

based on「～に基づいて」

observation「観察結果[記録]」

reaction「反応」

period「期間」

separation「分離、別離」

reunion「再会」

identify「～を特定する」
secure「安定した」
avoidant「回避的な」
anxious「不安な、心配な」
〈第3段落〉
securely attached「安定型の愛着を持つ」
distress「極度の不安、苦悩」
separate「～を離す[分ける]」
soothe「～をなだめる」
be afraid of「～を怖がる」
in the presence of「～のいるところで」
avoid「～を避ける」
ignore「～を無視する」
emotion「感情」
care「～を気にする」
treat「～を扱う、～に対応する」
not much differently than「～とさほど変わりなく」
intense「強い、激しい」
demonstrate「～を示す」
significant「(量などが)かなりの、著しい」
fear「恐怖、恐れ」
reject「～を拒否する」
contact「接触」
disorganized「無秩序な、混乱した」
behave「行動する、ふるまう」
inconsistently「一貫性なく」
confused「混乱して、当惑して」
fearful「おびえた、びくびくした」
violent「暴力的な、乱暴な」
〈第4段落〉
suggest「～を提案[提起]する」
sensitivity「感受性」
hypothesis「仮説」
argue「～と主張する」
depend on「～によって決まる、～次第である」
sensitive「敏感な、感受性の強い」
be responsive to「～にすぐに反応する」
deal with「～に対応する」
properly「適切に」
be likely to do「～する可能性が高い、～しそうである」
in contrast「対照的に」
insecurely「不安定に」
occur「起こる」
be unresponsive to「～に対して反応しない」
be associated with「～と関連している」
inconsistent「一貫性のない」
caregiving「世話」
meet「(要求など)を満たす[かなえる]」

neglect「～を無視する[気に留めない]」
cause A for [to] B「BにAをもたらす[引き起こす]」
confusion「混乱」
terror「恐怖」
abuse「～を虐待する」
〈第5段落〉
opinion「意見」
critical of「～に対して批判的な」
critic「批判する人、批評家」
correlation between A and B「AとBの間の相関関係」
parental「親の」
claim「～を主張する」
characteristics「特性、特質」
lead to「～を引き起こす」
naturally「生まれつき、生来」
difficult「気難しい」
〈第6段落〉
artificial「人工的な」
place「～を置く」
unfamiliar「未知の、慣れていない」
environment「環境、状況」
setting「場面設定、状況」
unnatural「不自然な」
lack「～を欠いている」
validity「妥当性、正当性」
criticism「批判」
researcher「研究者」
result「結果」
culturally「文化的に」
biased「偏った、偏見を持った」
subject「被験者」
restrict「～を制限[限定]する」
middle-class「中流階級の」
reflect「～を反映する[表す]」
norms「(通例複数形で)規範」
values「(複数形で)価値観」
〈第7段落〉
despite「～にもかかわらず」
undoubtedly「間違いなく」
lay「(基盤など)を築く[構築する]」
foundation「基礎、基盤」
modern「現代の」
psychotherapy「心理療法」
continue to do「～し続ける」
concept「概念」
play a role in「～において役割を果たす」
vital「極めて重要な」

(要約メモ)

influence「～に影響を与える」
upset「取り乱して、腹を立てて」
calm「～をなだめる」
display「～を示す[表す]」
severe「激しい」
link「関連性」
procedure「手順、方法」
be focused on「～に集中している」
(設問)
choose「～を選ぶ」
option「選択肢」
establish「～を築き上げる」
connection「つながり」
affection「愛情」
dash to「～に駆け寄る」
react「反応する」
irregular「不規則な、変則的な」
attitude「態度」
rejection「拒絶、拒否」
consequence「結果」
be dependent on「～によって決まる」
result in「～をもたらす、～につながる」
personality「性格」
indicate「～を示す」
cultural「文化的な」
variation「違い、差異」
required「必須の」
examiner「試験官」

▶ 全文訳

あなたの研究グループは、「愛着に関する心理学理論」について学んでいます。あなたは共有したい記事を見つけました。次のミーティングのために、要約メモを完成させてください。

愛着理論とは何か？

心理学者ジョン・ボウルビイは、子供には生まれながらにして母親と密接な感情的結びつきを形成したいという欲求があると説明する、愛着理論の研究で知られている。ボウルビイは、この深く親密な結びつきは乳児期に発達すると主張した。ボウルビイによれば、愛着は、子供が母親や主な養育者から、愛情、保護、住居、食物、関心などの欲求に対して一貫した反応を受けているときに発達する。また、このような早期の愛着が、子供の情緒的発達やその後の大人になったと

きの人間関係に影響を与えうること指摘している。

1970年代、心理学者のメアリー・エインズワースは、自らの研究を通じて愛着理論を発展させた。彼女は、乳児の母親に対する愛着を、「ストレンジ・シチュエーション法」と名付けた実験で研究した。エインズワースは、生後12カ月から18カ月の乳児の行動を、以下のようにいくつかの段階に分けて観察した。

- ・母親と乳児が部屋で2人きりである。
- ・見知らぬ人が部屋に入り、母親に話しかけ、乳児に近づく。
- ・母親は静かに退室する。見知らぬ人が乳児と交流する。
- ・母親が戻り、乳児をあやす。

エインズワースは、母親との分離時と再会時の乳児の反応の観察結果に基づいて、愛着には主に3つのタイプ(安定型、回避型、不安型)があることを特定した。

彼女の実験では、安定型愛着の乳児は母親から離されると苦痛を示すが、母親が戻ると簡単になだめることができた。母親と一緒にいれば見知らぬ人を怖がることはなかった。回避型愛着の乳児は、母親を避けたり無視したりし、母親がいなくなっても戻ってもほとんど感情を示さなかった。周囲に誰がいても気にしないようであり、見知らぬ人に対しても母親とあまり変わらない態度で接した。不安型は、母親がいなくなると強い不安を感じ、見知らぬ人に著しい恐怖を示した。母親が戻ると彼らは母親に近づくが、接触を拒否した。その後、ほかの心理学者が、「無秩序型」と呼ばれる4つ目の愛着タイプを特定した。無秩序型愛着の乳児は、行動に一貫性がなく、混乱したり、おびえたりしているように見えるときもあれば、暴力的になったり、泣いたりすることもあった。彼らは、母親が戻ってきても安心する様子がなかった。

エインズワースは、異なる愛着タイプを説明するために、「養育者感受性説」を提起した。彼女は、乳児の愛着タイプは、母親の赤ちゃんに対する行動によって決まると主張した。「感受性豊かな」母親は、子供の欲求にすぐに応え、彼らの感情に適切に対応するため、安定型愛着を持った子供を持つ可能性が高い。対照的に、感受性が乏しい母親は、不安定な愛着を持った子供を持つ可能性が高い。回避型愛着は、母親が子供の欲求に無反応である場合に起こる。不安型愛着の乳児は、母親からの一貫性のない養育と関連している。子供の欲求が満たされることもあれば、無視されることもある。無秩序型愛着は、母親が子供の欲求をしばしば無視したり、あるいは母親の行動が子供に混乱と恐怖を与えたりする場合に生じる。このタイプの愛着は、虐待を受けた子供によく見られる。

エインズワースの理論には批判的な意見も存在する。彼女の養育者感受性説を批判する人たちは、親の感受性と子供の愛着タイプとの相関は弱いと指摘している。心理学者のジェローム・ケイガンは、子供の生来の特性によって、愛着タイプが異なることがあると主張している。彼の研究によると、生まれつきより落ち着きのある赤ちゃんは安定型愛着を持つようになりやすく、気難しい赤ちゃんは不安定な愛着を持つ可能性が高い。

「ストレンジ・シチュエーション法」も、乳児が慣れない環境に置かれ、母親と見知らぬ人が出入りするという設定が不自然であるため、人工的だと言われている。同じ子供でも異なる愛着行動を示すことがあるため、この理論は妥当性に欠けていると言う人もいる。また、ストレンジ・シチュエーション法では、母親に対する愛着のタイプのみが特定され、父親やほかの家族に対する愛着は特定されないという批判もある。また、被験者が100人の中流階級のアメリカ人に限定されていたことから、調査結果が文化的に偏っており、アメリカ文化の規範や価値観しか反映していないと言う研究者もいる。

あらゆる批判にもかかわらず、愛着理論が現代の心理療法の基礎を築いたことは間違いなく、現在も子供の発達を理解する上で重要な役割を担う概念であり続けている。

あなたの要約メモ：

愛着理論とは何か？

ボウルビイの理論

- 子供は[39]という欲求を持って生まれてくる。
- 愛着は、子供が母親や主な養育者から自分の欲求に対して一貫した反応を受けると発達する。
- 初期の愛着は、子供の情緒的発達や大人になってからの人間関係に影響を与えることがある。

エインズワースの理論

- ストレンジ・シチュエーション法の実験で、母親との別離と再会に対する反応に基づいて、乳児の愛着の3つのタイプを特定した。
 - a) 安定型愛着タイプ：母親がいなくなると非常に動揺するが、母親が戻るとすぐに落ち着いた
 - b) 回避型愛着タイプ：[40]
 - c) 不安型愛着タイプ：母親がいなくなると激しい苦悩を示し、母親が戻ってくると接触を拒絶した
- エインズワースは、乳児の愛着タイプの違いは[41]と説明した。

エインズワースの理論への批判

- 親の感受性と子供の愛着タイプとの間に強い関連性があるとは言えない。
- ストレンジ・シチュエーション法の手順は人工的であり、[42]にのみ注目し、[43]を欠くものである。

B

▶ 解説

問1 [44] ④

「ポスターの最初の見出しの下の記事を確認したとき、1つの提案があまり適切でないとグループ全員の意見が一致した。次のうち、含めるべきでないものはどれか」

- ① A. 科学的な実験を行う
- ② B. 世界中で正確なコミュニケーションをとる
- ③ C. 正しい時間に儀式を行う
- ④ D. 天候を予測する
- ⑤ E. 法廷で演説の長さを管理する

時間計測の目的については、第1段落を参照する。第2文「時間は…世界中の人々との正確なコミュニケーションを可能にしている」は②(B)に、第4文中の「古代ギリシャの法律家は裁判での発言時間を制限するために(時間を計る装置を使用した)」は⑤(E)に、「中世の僧侶は儀式を適切な時間に行うために」は③(C)に、「初期の科学者は実験を行うために」は①(A)にそれぞれ相当する。④(D)については本文に言及がないため、これが正解。

問2 [45]・[46] ②・④(順不同)

「あなたは、ポスターの2つ目の見出しの下に、初期の時計と時刻設定に関する文を書く必要がある。次のうち、最も適したものを2つ選びなさい(順序は問わない)」

- ① 古代の人々は、日時計を一日中作動させるために、水流の仕組みを利用した。
- ② イギリスとアメリカが独自の標準時を設定し、ほかの国もそれに続いた。
- ③ イギリスでは19世紀半ばまでにGMTが法定標準時として採用された。
- ④ ガリレオ・ガリレイの研究のおかげで振り子時計は作られた。
- ⑤ クォーツ時計の発明以前には、標準化された「鉄道時刻」は存在しなかった。
- ⑥ 水時計は構造が複雑なために、ろうそく時計よりも正確だった。

まず、第3段落後半で振り子時計について説明され

ており、「17世紀半ばには、クリスチアーン・ホイヘンスが、振り子、つまり揺れ動くおもりを使った振り子時計を初めて作った。振り子時計は、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイの振り子の研究をもとに作られ、約270年間、最も精密な時計であった」(第4, 5文)と述べているので、この内容を端的に表した④が正解。また、各国の標準時導入については、第4段落後半で説明されており、「1850年代半ばまでには、イギリスのほぼすべての公共時計がGMTに設定され、最終的にGMTは1880年にイギリスの法定標準時となった。1883年までには、アメリカも独自の標準時を制定した。その後の数年間で、多くの国が自国の標準時を公式に宣言した」(第8～10文)と述べているので、この内容と合致する②が正解。なお、③については、GMTがイギリスの法定標準時になったのは1880年なので、「19世紀半ばまでに」の部分が誤り。また、⑤については、クォーツ時計の発明は1927年(第5段落第2文)であり、鉄道時刻が導入された19世紀よりもあとのことであるため不適切である。

問3 47 ②

「あなたは、ポスターの3つ目の見出しの下に、文章中の情報をまとめたいと思っている。表はどのように仕上げるべきか」

- ① (A) 気温の影響を受ける
(B) 時間の経過だけを伝える
(C) 小さくて持ち運べる
(D) 大きくて重い
- ② (A) 気温の影響を受ける
(B) 時間の経過だけを伝える
(C) 大きくて重い
(D) 小さくて持ち運べる
- ③ (A) 時間の経過だけを伝える
(B) 気温の影響を受ける
(C) 小さくて持ち運べる
(D) 大きくて重い
- ④ (A) 時間の経過だけを伝える
(B) 大きくて重い
(C) 気温の影響を受ける
(D) 小さくて持ち運べる

水時計については、第2段落第8文に「水時計は水が凍ると使えなくなった」とあるので、(A)には『気温の影響を受ける』が適当である。続く第9文に「ろうそく時計は、時間の経過を知ることはできても、1日のうちの正確な時刻を知ることはできなかった」とあるので、(B)には『時間の経過だけを伝える』が入る。第3段落第2, 3文に、「おもりで動く大型の機械式時計が、

いくつかの都市の塔で見られるようになった。15世紀後半には、重いおもりをぜんまいに置き換えることで、懐中時計のような小型の携帯用時計が作られるようになった」とあるので、(C)には『大きくて重い』が、(D)には『小さくて持ち運べる』が入る。以上から、正解は②である。

問4 48 ①

「ポスターの最後の見出しの下に、あなたのグループは、文章をもとに近代の時計についての文を加えたいと思っている。次のうち最も適切なものはどれか」

- ① 原子時計はNASAが宇宙探査活動を行うのに採用されている。
- ② クォーツ式アナログ時計がデジタル時計に取って代わられるのに10年かかった。
- ③ クォーツ時計は原子時計よりはるかに精度が高い。
- ④ ウォーレン・マリソンはイギリスの船長たちのためにクォーツ時計を発明した。

近代の時計については、第5, 6段落で説明されている。第6段落第1, 3文に「現在、実用化されている最も正確な計時装置は原子時計である。…それらは、全地球的航法衛星システムやNASAの宇宙航行にさえも利用されている」とあることから、この内容と合致する①が正解。②は、第5段落第4文の内容と矛盾するため不適切。③については、第6段落第1文に「実用化されている最も正確な計時装置は原子時計である」とあるため不適切。④については、クォーツ時計を発明した理由についての言及はないため、こちらでも不適切。

▶ 語句 *は参考語句

(リード文)

prepare「～を準備する」

presentation「発表、プレゼンテーション」

following「以下の、次の」

passage「文章、一節、(時の)経過」

create「～を作る」

(本文)

<タイトル>

brief「短い、簡潔な」

measurement「計ること、測定」

<第1段落>

measure「～を計る[測定する]」

unimaginable「想像がつかない」

modern「近代の、現代の」

society「社会」

regulate「～を規則正しくする[制御する、管理する]」

possible「可能な」
accurately「正確に」
communicate with「～とコミュニケーションする」
distant past「大昔，遠い過去」
ancient「古代の」
Greek「ギリシャ(人)の」
lawyer「弁護士，法律家」
device「機器，装置」
limit「～を制限する」
trial「裁判，審理」
medieval「中世の」
monk「修道士，修道僧」
ensure「～を確実にする[保証する]」
ritual「儀式」
perform「～を行う[実行する]」
appropriate「適切な」
conduct「～を行う[実施する]」
experiment「実験」
〈第2段落〉
Egypt「エジプト」
*sundial「日時計」
shadow「影」
depending on「～次第で，～に応じて」
position「位置」
require「～を要求する[要する]」
shine「輝く」
cloudy「曇った」
search for「～を探す」
come up with「～を考え出す[思いつく]」
observe「～をよく見る[観察する]」
steady「一定の，着実な」
flow「流れ」
container「容器」
water level「水位」
timekeeping「時間管理の，時間記録の」
scale「目盛り，定規，基準，尺度」
mark「～に印をつける」
indicate「～を指し示す」
according to「～に従って[応じて]」
amount「量」
burn「燃える」
precise「正確な」
limitation「制限，限界，限度」
useless「使い物にならない，役に立たない」
pass「(時間が)たつ」
freeze「凍る，凍結する」
exact「正確な，きっかりの」

〈第3段落〉
mechanical「機械の，機械で動く」
invent「～を発明する」
weight-driven「おもりで動く」；weight「おもり」
appear「現れる，出現する」
replace A with B「AをBに置き換える，AをBに交換する」
spring「ぜんまい，ばね」
allow for「～を可能にさせる」
portable「携帯用の，運搬できる」
pocket watch「懐中時計」
*pendulum「振り子」
swinging「揺れ動く」
be based on「～に基づいている」
astronomer「天文学者」
〈第4段落〉
development「発展，発達」
allow O to do「Oが～できるようにする」
issue「問題(点)」
arise「起こる，生じる」
cargo「貨物，積荷」
distance「距離」
ship captain「船長」
maintain「～を維持する」
reliable「確かな，信頼できる」
region「地域」
local「現地の，ある地域の」
standardization「標準化，規格化」
serious「深刻な，真面目な」
railway「鉄道の」
increased「増加した」
frequent「頻繁な，たびたび起こる」
switch from A to B「AからBへ変更する[切り替える]」
varying「変化する，さまざまだ」
massive「大きな，大規模な」
inconvenience「不便(さ)，不都合」
passenger「乗客」
deal with「～に取り組む[対処する]」
railroad「鉄道の」
introduce「～を導入する」
standard time「標準時」
timetable「時刻表」
*Greenwich Mean Time「グリニッジ標準時(GMT)」
clock time「時刻」
legal「法律の，法定の」
establish「～を設立する[制定する]」
as well「同様に」

officially「公式に」
 proclaim「～を公表する[宣言する]」
 〈第5段落〉
 electronics「エレクトロニクス, 電子工学(技術)」
 *quartz crystal clock「クォーツ時計」
 ; *quartz crystal「水晶振動子」
 ; *quartz「(鉱物の)石英, クォーツ」
 vibration「振動」
 regular「規則正しい, 定期的な」
 maximum「最大限の」
 error「誤り, 誤差」
 ～ ten-thousandths of a second「1 万分の～秒」
 ; ten-thousandth「1 万分の 1」
 equivalent to「～と同等である, ～に相当する」
 ground-breaking「革新的な, 画期的な」
 analog「アナログの」
 wristwatch「腕時計」
 release「～を発売する[発表する]」
 〈第6段落〉
 atomic clock「原子時計」
 accurate「正確な」
 in practical use「実際に使用されて, 実用化されて」
 electron「電子」
 atom「原子」
 accuracy「精度, 正確さ」
 exceed「～を超える[上回る]」
 one billionth「10 億分の 1」
 *global navigation satellite system「全地球的航法衛星システム」
 space navigation「宇宙航行」
 (ポスター)
 draft「下書き, 草案」
 purpose「目的」
 carry out O [O out]「O を実行する」
 scientific「科学的な」
 predict「～を予測する」
 weather conditions「気象条件, 天候状態」
 length「長さ」
 court「法廷, 裁判」
 time setting「時間設定」
 comparison「比較」
 note「メモ, 注記」
 (設問)
 statement「発言, 記述」
 heading「表題, 見出し」
 agree「～に同意する」
 suggestion「提案, 提言」
 include「～を含める」

concerning「～に関して[について]」
 order「順序, 順番」
 utilize「～を利用[活用]する」
 mechanism「構造, 仕組み, メカニズム」
 followed by「後に～が続いて」
 adopt「～を採用する」
 standardized「標準化された」
 invention「発明」
 due to「～が原因で」
 complex「複雑な」
 structure「構造」
 summarize「～を要約する」
 table「表」
 affect「～に影響を与える」
 temperature「温度, 気温」
 add「～を加える」
 employ「～を採用する[用いる]」
 space exploration「宇宙探査」
 activity「活動」
 decade「10 年」
 replace「～に取って代わる」
 be superior to「～よりも優れている」

▶ 全文訳

あなたは、プレゼンテーション・コンテストのためにポスターを準備している学生グループの 1 人です。あなたはポスターを作成するために次の文章を使っています。

時間計測の略史

時間を計ることのない生活は、現代社会では想像もつかないだろう。時間は私たちの日常生活を規則正しいものにし、世界中の人々との正確なコミュニケーションを可能にしている。大昔の人々もまた、時間を計る必要があった。古代ギリシャの法律家は裁判での発言時間を制限するために、中世の僧侶は儀式を適切な時間に行うために、そして初期の科学者は実験を行うために、時間を計る装置を使用した。

時間の計測は、古代エジプトで、天空の太陽の位置によって変化する太陽の影を利用して時刻を表示する装置である、日時計から始まった。しかし、太陽が照っている必要があったので、曇っているときや夜間には機能しなかった。太陽がなくても時間を計る方法を探し求め、人々は水時計を思いついた。容器から一定量の水が流れ出るのを観察し、その水位から時間を知ることができたのである。また、ろうそく時計も古

代の時間管理装置だった。目盛りのついたろうそくが、燃えた量によって時間の経過を示していた。どちらの装置も一日中使えるが、正確さに欠け、限界があった。水時計は水が凍ると使えなくなった。ろうそく時計は、時間の経過を知ることはできても、1日のうちの正確な時刻を知ることはできなかった。

ヨーロッパで初めて機械式時計が発明されたのは、14世紀初頭のことである。おもりで動く大型の機械式時計が、いくつかの都市の塔で見られるようになった。15世紀後半には、重いおもりをぜんまいに置き換えることで、懐中時計のような小型の携帯用時計が作られるようになった。17世紀半ばには、クリスチアーン・ホイヘンスが、振り子、つまり揺れ動くおもりを使った振り子時計を初めて作った。振り子時計は、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイの振り子の研究をもとに作られ、約270年間、最も精密な時計であった。

時計の発達により、人々は時間を正確に計ることができるようになったが、18世紀になると、人、郵便、貨物が遠距離を移動するようになり、問題が発生した。イギリスでは、地域によって時間が異なるため、船長たちは確かなスケジュールを維持することが困難だった。ほぼすべての都市で現地時間が使われており、地域間の標準化がなされていなかった。19世紀に入り、鉄道が出現すると、この問題はさらに深刻になった。スピードが上がり、列車を頻繁に乗り換えるようになったため、時刻がばらばらなことは乗客に大きな不便となった。この問題に対処するため、イギリスの鉄道会社は、「鉄道時刻」という単一の標準時刻を、すべての時刻表とすべての駅に導入した。それはグリニッジの現地時刻であるグリニッジ標準時(GMT)に基づいていた。1850年代半ばまでには、イギリスのほぼすべての公共時計がGMTに設定され、最終的にGMTは1880年にイギリスの法定標準時となった。1883年までには、アメリカも独自の標準時を制定した。その後の数年間で、多くの国が自国の標準時を公式に宣言した。

1900年代、科学者たちは時間を刻むのに電子工学技術を使うようになった。1927年、ウォーレン・マリソンは、時間を刻むのに水晶振動子の振動を利用した最初のクォーツ時計を発明した。水晶の振動は非常に規則的で、クォーツ時計の最大誤差は1日あたりたったの1万分の数秒であり、これは10年間で1秒の誤差に相当する。1969年に画期的なクォーツ式アナログ時計(腕時計)が発売され、その数年後に最初のデジタル時計が発売された。

現在、実用化されている最も正確な計時装置は原子時計である。原子の中の電子の振動によって制御される原子時計は、1日あたり10億分の1秒を超える精度を持つ。それらは、全地球的航法衛星システムやNASAの宇宙航行にさえも利用されている。

プレゼンテーション用ポスターの下書き：

時間の計り方の変遷

1. 時間計測の目的

- A. 科学的な実験を行う
- B. 世界中で正確なコミュニケーションをとる
- C. 正しい時刻に儀式を行う
- D. 天候状態を予測する
- E. 法廷で演説の長さを管理する

2. 初期の時計と時間設定

45

46

3. 初期の時間計測装置の比較

装置	メモ
日時計	知られている最も古い時計
水時計	(A)
ろうそく時計	(B)
おもりで動く時計	(C)
ぜんまいで動く時計	(D)
振り子時計	2世紀以上にわたって最も正確な時計

4. 近代の時計

48